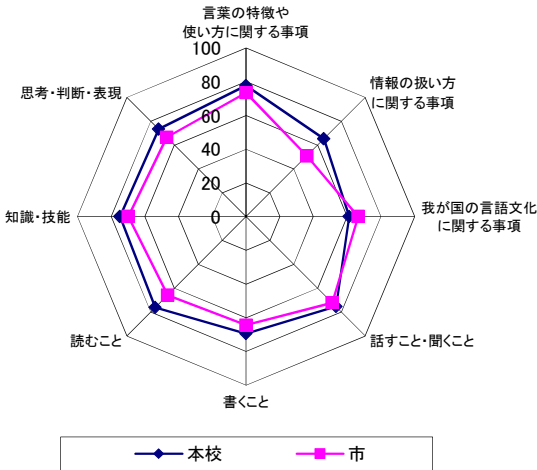


宇都宮市立錦小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	77.7	73.5	74.4
	情報の扱い方に関する事項	65.3	51.0	51.5
	我が国の言語文化に関する事項	61.2	66.5	68.8
	話すこと・聞くこと	75.5	72.3	73.7
	書くこと	69.4	64.3	66.6
	読むこと	76.2	65.8	64.9
観点別	知識・技能	74.8	69.8	70.8
	思考・判断・表現	73.3	66.5	67.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方に関する事項	・平均正答率は77.7%で、市の平均を4.2ポイント上回った。 ○6学年で学習する漢字の読みについては、どの問題も正答率が90%を超えており、概ね身に付いていると言える。 ●敬語について理解し、正しく使うことについての問題では、正答率が20.4%で市より1.8ポイント下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・5学年で学習した漢字については、正答率が下がっていたので、6学年の漢字だけでなく前年度までの漢字も、漢字ドリルやプリントなどを活用しながら復習するよう指導する。 ・敬語の種類、使い方についての復習を行うだけでなく、日常生活の中で適切に使うことができるよう指導していく。
情報の扱い方 に関する事項	・平均正答率は65.3%で、市の平均を14.3ポイント上回った。 ○「情報と情報の関係について理解し、文章の情報を整理している」の正答率は69.4%で、市の平均を18.7ポイント上回った。	・文章中の情報を整理し活用する力は身に付いているので、さらに目的に応じて文章を書く力を高められるよう、普段から、自分の考えを文章で書く活動を多く取り入れていきたい。そのため、国語だけではなく、他の教科でも情報を整理しながら必要な情報を活用し、自分の考えを広げられるようにしていきたい。
我が国の言語文化 に関する事項	・平均正答率は61.2%で、市の平均を5.3ポイント下回った。 ●「語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解している」についての正答率は61.2%で、市の平均を5.3ポイント下回った。	・漢字の成り立ち、意味、和語・漢語・外来語の違い等、自主的に調べることができるよう、自主学習で取り組む内容の例を示し、言葉の学習に興味をもてるよう指導していく。
話すこと・聞くこと	・平均正答率は75.5%で、市の平均を3.2ポイント上回った。 ○「話の内容を捉えている」については、正答率が90%を超えており、話の内容を捉える力は概ね身に付いていると言える。	・教室に掲示している「話し方や聞き方」を再度確認し、他の人へ話すとき、話を聞くときの基本的な態度を繰り返し指導していきたい。 ・学級活動などの時間にも「話し方や聞き方」の掲示物を活用し、話題に対してお互いの立場を明確にしながら計画的に話し合えるようにしていく。
書くこと	・平均正答率は69.4%で、市の平均を5.1ポイント上回った。 ○「情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書いている」については、正答率が61.2%で、市の平均を9.9ポイント上回った。 ●「予想される反論とそれに対する意見を書いている」については、正答率が46.9%と市の平均とほぼ同等だった。	・自分の考えなどを文章で表す際に、書く前に構成メモを作成したり自分の書きたいことを整理したりするなど、筋道を立てて表現できるよう指導を行っていく。 ・普段から自分の考えを表現する機会を多くし、読み手を意識した文が書けるようにしていきたい。また、文を書くだけでなく、括弧の使い方や段落頭の1文字空けなど、文を書くときのきまりについても繰り返し指導していく。
読むこと	・平均正答率は76.2%で、市の平均を10.4ポイント上回った。 ○説明文の内容を読み取る問題は、3問とも正答率が市の平均より10ポイント以上上回った。	・国語の学習や他教科で学習した内容に関係する本を紹介するなど、並行読書も勧めていき、本校の特色である読書活動に力を入れ、普段から本に親しむことができるようにしていきたい。